

血液凝固阻止剤及び抗血小板剤に関するヒヤリ・ハット ～規格・剤形間違いのパターン～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「血液凝固阻止剤及び抗血小板剤」に関する事例が96件報告されています。(集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日) 規格・剤形間違いに関する事例の医薬品と規格・剤形間違いのパターンを以下に示します。

医薬品名	規格・剤形間違いのパターン	件数
アンプラーグ錠	「50mg」と「100mg」	1
エパデール	「S600」と「S900」	4
	「カプセル300」と「S300」	1
ソルミラン顆粒状カプセル	「600mg」と「900mg」	1
プラザキサカプセル	「75mg」と「110mg」	1
プラビックス錠	「25mg」と「75mg」	4
プレタールOD錠	「50mg」と「100mg」	2
ワーファリン錠	「0.5mg」と「1mg」	4
	「1mg」と「5mg」	1

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 375 図表8-I-9